



# 志津南

## 1月号 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (10/31 現在)  
世帯数 2,529 総人口 6,687 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizu373@machikyout.jp

センター玄関前に飾られたペットボトルツリー



煌々と… キラキラと…

ペットボトル600個あまりを針金で繋いだツリー3基は、あたりが暗くなると、電飾がキラキラと輝き、一気にクリスマスな世界。寒い中、足を止めて見入る人も多く、「今年もきれいですね」の声も多く聞かれました。

ペットボトル600個あまりを針金で繋いだツリー3基は、あたりが暗くなると、電飾がキラキラと輝き、一気にクリスマスな世界。寒い中、足を止めて見入る人も多く、「今年もきれいですね」の声も多く聞かれました。

志津南アンサンブルパワースタッフ代表は12月16日(吉田知津子代表)は12月16日〜24日の期間、志津南環境美化ボランティアの会の協力で年末恒例イベントになったペットボトルツリー「しづみにナリエ」を開催しました。

志津南学区まちづくり協議会(四方道治会長)は12月21日、志津南まちづくり

意見交換を行いました。近年当学区では、高齢化が進む若草地区と働き盛り・

橋川渉市長を迎え行われた「トーク」



市長とトーク

センターで「市長とまちづくりトーク」を開催し、まち協から理事など24人、行政側は橋川市長はじめ7人が出席しました。「まちづくりの担い手づくり」と「交通状況変化への対応」をテーマに現状確認と共に今後の対応について

市からは、職員の協働マインドを高める人材育成制度や、「地域担当職員」について説明があり、より地域に寄り添う形で取り組むとの約束をいただきました。環境美化についても、住民

## 直面する地域課題 話し合う 住民負担軽減の方向など探る

子育て世代が中心の追分南地区との2極化が進み、どちらも地域活動の担い手が見つからず、役員や委員に大きな負担がかかる悪循環が生じています。市と地域の連携強化と環境美化活動の2点について、話し合いが進みました。

の手だけでは追い付かなくなっている現状を共有し、より踏み込んだ協議をしていくことを確認しました。交通状況に関しては、山手幹線延伸に伴う交通量増などの見通しと安全対策、かがやき通りの交通渋滞解消が取り上げられました。山手幹線については、市から令和6年度末部分開通、令和7年度秋全開通などの予定や交通量の見通し、若

## 創立40周年祝い 高穂40thFES



高穂中学校(作田まさ代校長)は11月24日、創立40周年を迎えた記念として、「高穂中学校40th FES」を開催しました。

日頃から保護者や地域ボランティアのおかげで安全安心な日常生活を送ることができていることへの感謝と、「たかほ学」でお世話になっている地域の専門家や企業の方へ学びを発信する場としました。1年生では福祉体験学習、2年生では生き方学習「Working Summit」(働くことを考えるサミット)、3年生では社会参加学習「世界的な課題に目を向けよう」でポスターセッションを行い、平和学習講演を聴きました。

ほかにも生徒の作品展示やふれあい体験活動で文化体験や工作体験、環境や防災体験にスポーツ体験などを通して地域とのつながりを深めた一日となりました。当日の様子は、高穂中学校ホームページ=QRコード=でご覧ください。



熱心に耳を傾ける参加者



志津南学区社協は12月9日、まちづくりセンターで立命館大学大学院教授篠原靖司先生を講師に、「膝関節のケアによる健康促進」のテーマで福祉セミナーを開催、約80人が参加しました。膝関節の構造、疾患種類

- 1 無理しない
  - 2 痛みのない程度に行う
  - 3 毎日行える程度の回数
  - 4 継続的に根気強く行う
- 熱心に講師の話に耳を傾け、講演後の質問も活発に行われたのが印象的でした。(福祉部会部長 山口善道)

## 膝関節ケア学ぶ

今後お互いに連携をとりながら、住民負担の軽減と安心して暮らせるまちづくりの実現に取り組むことを確認し合いました。

この症状・治療の説明があり、症状に合う治療法を選ぶ重要性を知りました。特に最近多い変形性膝関節症について、解りやすく学びました。予防には運動が重要で、太もも前の筋肉を鍛える筋トレが大切であること、また他部位の筋トレ・ストレッチなども教わりました。実技指導を予定していましたが、会場スペースの関係で図による説明となり、残念でした。運動療法のコツは、



# 日々糧に成長する子ども達

志津南小学校(山田容子校長)では、子どもたちが日々一つひとつを糧にどんどん成長しています。

## オンライン人権集会

志津南小学校では11月27日からの一週間を人権週間とし、「みんな平等に一人ひとりを大切に」する志津南小学校を合言葉に、各学年・クラスで友だちとの日ごろのかかわり方や声のかけ方



映像で学ぶ人権集会

などについて考えました。最終日の12月1日に、各教室でオンラインを利用し人権集会を実施しました。各クラスで決めて取り組んだスローガンの発表、委員会からの人権に関わる内容の紹介や呼びかけ等をオンラインで行いました。各クラスでその映像を見、改めて人権について様々な視点から学び、感じたことと



お正月の生け花は、新年の風情に華やかな

彩りを添え、新しい年を明るく、美しく演出します。

正月花と言え、常に葉を青々とさせている不老長寿の象徴である松、早春の時期に花を咲かせ、出世・開運の意味がある梅、「難を転ずる」に通じるところから使われる南天など、縁起の良い植物が定番となっていますが、今回はこれらの



### 花材

- アカメヤナギ テッセン
- キキョウラン ベロニカ
- カナメチ 松笠
- 蓮台(ハスの実のドライ)

人権は、全ての人が人としてあたり前に持っている権利だからこそ、意識しなければ気づきにくいものだと思います。広島市内では平和記念公園を訪れ、平和セシモニーの後、原爆ドームをはじめ

六年生は11月16、17日の日程で広島方面へ修学旅行に行きました。園を訪れ、平和セシモニーの後、原爆ドームをはじめえて広がりを見せ、上に向かって伸びる蓮の実は躍動感があります。中央に散りばめられたカナメチの赤い実が晴れやかに彩り、金と銀の水引を添えると一層華やかになります。玄関でこの作品に迎えられるなら、とても晴々とした気分になるでしょう。新しい年を迎えるにあたり「良い年になりますように」という願いが伝わる作品です。(花いちもんめ)

## 初めての宿泊体験



す。一週間にわたり人権を意識し続けたことで、子どもたちは、自分も大切にされていくことに気づき、温かい気持ちになったと感想を綴っていました。

公園内を散策。ポランティアガイドの説明を聞きまし。その後広島平和記念資料館を見学して、被爆体験された方から話を聞きました。現地を訪ねることで、多くの学びがありました。

## 自然の面白さ実感



木々が生き茂った林道

四年生は11月27日、総合的な学習の一環として、「京とおうみ自然文化クラブ」の方々を講師に迎え、遊歩道「りょうぶの道」に入り、自分たちの身近にある秋の自然を観察しました。林道に入ると、そばに生えている木について説明を受けたり、色とりどりの木の葉や木の実を見つけたといったネイチャーゲーム

宮島では、世界遺産の「厳島神社」を見学した後、班ごとに表参道商店街でお土産を買いました。相手の顔を思い浮かべ、何を買うか悩みながら楽しそうに買い物をしていました。初めての宿泊体験で、出発前は不安そうな様子も見られましたが、帰ってきた時には、自分たちで乗り越えたという自信に満ちた表情に。二日間の経験をこれからの学校生活に生かしていきます。

## 健康は運動から 食事から

志津南学区健康推進員連絡協議会(千金菜見子代表)は11月23日に「秋のはつらつウォーキング」、29日に減塩料理講習会を行いました。ウォーキングには24人が参加。びわこ文化公園まで歩きました。朝はお天気が心配されましたが、紅葉日和。帰りを30分遅らせ、散策も楽しめました。合計1万7千歩のウォーキングでした。参加者はいつも健脚揃いでびっぴりです。



減塩献立で料理講習会

一方、料理講習会の献立は、栄養価の高いもち麦ご

「野菜がいっぱい」「ショウワが効いて体がポカポカ」「ゆずの香りがいいな」とワイワイ言いながら皆で完食。メンバーも久しぶりの料理講習会で、時間内にできあがるか心配もしましたが、参加者からは好評で、充実した講習会となりました。これからは回数を増やして計画したいと思えます。また、多数の参加をお待ちしています。

## 今月の志津南文庫



小学生なら、というタイトルですが、大人も知らないことがいっぱいありそう...

小学生なら知っておきたい教養366 齋藤孝 小学館

- 口福のレシピ 原田ひ香 小学館
- マイクロスパイアンサンブル 伊坂幸太郎 幻冬舎
- ベストマン リチャード・ペック 小学館
- 東京、はじまる 門井慶喜 文藝春秋
- ルパンの絆 横関大 講談社
- あしたの官僚 周木律 新潮社
- だまし絵の不思議な世界 杉原厚吉 誠文堂新光社

他

# スポーツデー 地域の絆深め

## 山頂目指しウォーキング



プス、北に比良山系を臨みながら大津市側に下山。青山中央公園で休憩の後、伯

スポーツ振興委員会(高瀬佳代子代表)は11月23日、「チャレンジスポーツデー」を実施しました。  
午前は「牟礼山ウォーキング」。94人が志津南小学校から牟礼山山頂を目指しました。山頂展望台から西に立命館大学、東に金勝アル

母川沿いにゴールの志津南小学校まで全員無事に到着しました。行程約6km所要時間約2時間半でした。  
午後は小学校体育館で「アイスコン大会」を実施し、55人が参加しました。  
3面のコートを使い9チームによる町別対抗戦。勝

## 「いっしょに家康」最終章



岡崎城へ逃げ帰った伊賀越えルートを逆回りで、宇治田原から木津川の草内の渡し跡を訪れました。当時の面影はありませんが、必死の逃走劇が想像できました。  
次に家康が関ヶ原の戦いの後、本拠地にしていた伏見を散策しました。伏見桃山城址から御香宮神社、両替町通を通り、秀吉が最初に築いた指月城趾周辺を散策しました。

志津南まちづくりセンターは11月22日、教養文化講座「史跡探訪」5回目最終講座を開催、受講生22人が参加しました。写真。まず、家康が命からがら

ち抜いた3チームによる決勝戦では応援席から声援が飛び交い、笑いと歓声に包まれながら負傷者もなく無事終了しました。

## 暮りしの拠点巡る



浄化センター見学の参加者

若草一味クラブ(早川將会長)は11月24日、参加者24人で晩秋のバスツアーを実施しました。  
自然と人との共生を目指す「湖南浄化センター」を

## おめでとーございます

11月18日、長年にわたる地域福祉活動への尽力を称える草津市社会福祉功労者表彰式が草津市役所で行われ、当学区から次の方々が登場されました。  
▽学区社協前会長 松崎大次郎氏  
▽健康推進員 廣嶋恵子氏



浅野謙一氏(右) 廣嶋恵子氏(左)

コロナ禍の空白の3年を経ての開催でしたが、ふれあいの場を創造し地域の絆を深める役割を担う委員会の責務を改めて感じました。

訪問。琵琶湖のような閉鎖性水域は富栄養化による水質悪化を防ぐため、放流に5段階もの高度な処理が実施されます。見学し、最低限のルールを守る大切さを改めて学びました。  
昼食後、資源循環型「草津市立クリーンセンター」へ。熱回収施設で無煙無臭処理の仕組みを見学しました。ゴミ焼却熱で発電、施設の電気を賄い、余剰分(年間1億5,6千万円)は売電し有効活用を図っているとか。また最終残土の処分は

▽かがやきの丘「なごみ会」(浅野謙一代表)  
ボランテ 早瀬正和氏  
ブ「懐メロを歌う会」

これは、ボランティアグループとして5年以上活動し、社会福祉の向上に貢献した功績が顕著な団体に授与されるものです。

他府県の埋め立て地などに  
お世話になっていること等  
貴重なお話を聞くことができた。  
追分南町内会「元氣くらぶ」は11月28日、参加者26人で高島の「メタセコイヤ」から関ヶ原「古戦場記念館」の日帰りバス旅行に出かけました。写真。  
全長2.4キロに及ぶメタセコイヤの紅葉は絶景でした。途中交通渋滞に巻き込まれ、温かく迎えようと、朝の通学見守りが始まりました。  
時の移り変わりと共にスタート前の交差点の信号機が歩車分離式となり、安全確保は以前より増してできる



絶景メタセコイヤ



## 通学の安全願い

志津南学区安全パトロー  
ルは、地域を見守るボラン  
ティア活動として、平成16  
年9月1日に、志津南地区  
(当時)社会福祉協議会のボ  
ランティア部会から発足し  
ました。  
発足当初は、4人のメン  
バーでした。主にスター前  
交差点での横断誘導を行  
いました。

当時、小学校の通学区域  
変更があり、自由選択では  
ありましたが、志津小学校  
から約25人の児童が志津南  
小学校へ編入してきました。  
緊張した面持ちで、長い距  
離を通学する子どもたちを

予定していた古戦場記念館  
はやむを得ずキャンセルし  
ましたが、関ヶ原で食事を  
とり、琵琶湖一周の楽しい  
旅でした。  
パソコンの駅  
▽パソコンについての相談  
▽1月25日(木)  
2月27日(火)  
13時~16時  
▽センターサロン

松本孝子さんは発足当時  
からのメンバーで、3丁目  
交差点付近で、子どもたち  
への声掛けをしながら通学  
見守りにあたってくださっ  
て現在にいられます。

見守り活動の中では、毎  
日小学生から元気な声で  
「おはようございます。」と  
逆に元気をもらっています。  
毎朝会つので顔見知りにな  
り通学路以外でも手を振  
ってくれたり、「こんにちは」  
と挨拶をしてくれる事もあ  
ります。  
近隣のスーパーなどで、  
りっぱな体格の青年から名  
前を呼ばれ、やんちゃだっ  
たその青年の成長に驚き、  
月日の流れを感じると話す  
メンバーもいます。  
私たちの活動には定年は  
ありません。まだまだこれ  
からも元気に活動を続けよ  
うと思います。  
(佐々木奉昭)

子ども達の通学を見守る松本孝子さん

